



三菱ガス化学株式会社

平成 20 年 5 月 7 日

高純度イソフタル酸製造設備の稼働について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：酒井和夫、以下「MGC」という）の子会社エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル株式会社（本社：東京都港区、社長：川添能夫、以下「AGIC」という）は、高純度イソフタル酸（以下「PIA」という）の生産能力を年産 10 万トン増強し、4 月 1 日より商業生産を開始しました。既存の設備を合わせた生産能力は年産 23 万トンとなり、アジア最大の PIA メーカーとしての座は一層堅固なものとなります。

この度の生産能力増強は、三菱化学株式会社松山工場（愛媛県松山市）内の休止設備を取得、改修することにより、設備投資額を大幅に抑制しています。

PIA 製造販売会社の AGIC は、水島工場（岡山県倉敷市、MGC 水島工場内）に年産 13 万トンの PIA 製造設備を所有していますが、ここ数年は PIA 需要の急速な拡大に対応してフル操業を継続しており、早期の生産能力増強が期待されていました。

このような状況から、AGIC へ原料メタキシレンを全量供給している MGC も、メタキシレンの生産能力を 2009 年秋までに年産 15 万トンから 22 万トンに引き上げることを決定しており、PIA をはじめとしたメタキシレン系事業の拡大発展を図ってまいります。

【PIA の用途と市場規模】

PIA はメタキシレンから合成される芳香族ジカルボン酸で、ボトル用 PET 樹脂などの改質剤として、また、各種塗料、不飽和ポリエステル樹脂などの原料として使われており、需要は近年、年率 7～8% で成長しております。特に PET ボトルや粉体塗料は高成長が続いており、PIA の世界需要は今後も引き続き高い水準での成長が見込まれています。

<AGIC 概要>

設 立：1968 年 1 月

株主構成：MGC 91.6%、双日株式会社 8.4%

従業員数：約 60 名

事業内容：イソフタル酸の製造および販売

生産能力：年産 23 万トン（水島工場 年産 13 万トン、松山プラント 年産 10 万トン）

<本件に関するお問い合わせ>

広報 IR 部 興石

TEL. 03-3283-5041